

# 南砺市山野公民館

## ◆事業の目的

少子高齢化が進む一方、新興住宅地も増え、「ふるさと」や「自然体験」の意識が薄れる中、事業を通して家族や友人・地域の人々とのふれあい・自分の体力等について考えを深め、ふるさとを愛する心をはぐくむ。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月 5日 (日)	田祭りあんどん作り	地区公民館	60名
7月 23日 (土)	ふるさと再発見立山に登ろう	立山	40名
8月 15日 (月)	山野地区盆踊り大会	J A 広場	300名

## ◆事業の様子

### ☆田祭りあんどん作り

古来、豊作を願ってトッペあんどんを作り地区を練り歩く行事があったが、今も伝承され多くの子ども達が自作のあんどんをもって地域の唄をうたいながら2日にわたって練り歩いた。各戸を回り、地域の人々に声をかけてもらい、郷土愛を育む良い機会だった。現存する地域の風物である。



### ☆立山登山

小1から70代まで幅広い参加があり、立山に対する市民の根強い人気を感じた。事前説明会での注意を良く守り、雄山山頂コースでは下山時も落石等に注意しながら全員無事登山した。地獄谷・みくりが池コースでは、今も噴煙をあげる地獄谷で自然の景観に触れ、みくりが池では「星に一番近い」温泉に浸かり至福のひと時を味わった。「ふるさと立山」を再認識し貴重な経験をした。



### ☆山野地区盆踊り大会

三世代が集い、地元保育園の協力もあり子ども向けの曲を踊ったり、「山野里芋洗い音頭」「井波木彫り音頭」の地元ならではの曲を共に踊り、おわら節、麦屋節といったポピュラーな曲を交えながら輪を広げ一体感を共有した。お盆に帰省した人や外国からの研修生も交えてふるさとのお盆を楽しめたと思う。



## ◆事業の成果と課題

「自然体験」や「地元密着」が少ない中、多くの子ども達が参加してくれた。新しく実施した立山登山は子ども達もまわりの大人たちの話を聞き、真剣に取り組んでいた。父兄からも「大変良かった。」「子ども達も大丈夫かと思ったが、よく頑張ってくれた。」等々子ども達の成長の姿に満足の声が聞かれた。活動の中で、親子のふれあいはもちろんのこと、地域の方々とのふれあいを深めて地域に対する愛着心をさらに深めてもらえるよう継続していきたい。